

海外客船誘致

めざしシンポ

酒田市は21日、「酒田港外航クルーズシンポジウム」を同市のガーデンパレスみずほで開く。海外大型客船の誘致実現を視野に入れた初めての企画。基調講演とパネルディスカッションを通じて酒田港の現状と課題を探り、寄港地としての魅力アップにつなげる。国内客船は近年、酒田港に寄港。2016年度は「にっぽん丸」「ぼしふいっくびいなす」がそれぞれ入港

酒田で21日 酒田港の課題探る

を予定している。一方、海外客船の接岸はこれまでなく、岸壁の壁面に施す緩衝機能の「防舷材(ぼうげんざい)」やロープを固定する岸壁の「係船柱」の改修が必須。県は防舷材など各種設備の新設を16年度予算案に計上している。

外航クルーズ船の経済効果は1人当たり3万〜4万円と試算されている。県と酒田市が昨年、船会社にトップセールスを行うなど誘致の機運が高まっている。

シンポジウムは当日午後3時半に開会。クルーズ船観光振興議員連盟幹事の

沼穂穂参院議員、猪股暁士雄カーニバル・ジャパン・プリンセス・クルーズ営業部長が、寄港地に求められる要素などについて講演する。続いて、伊藤哲哉山形新聞論説委員長をコーディネーターに、猪股部長と小野真哉県観光経済交流局長、岡崎弥平治高見屋旅館社長、佐藤香奈子NPO法人酒田港女みなと会議理事をパネリストに、酒田港への誘致戦略などを討論する。

定員300人。入場無料だが整理券が必要。問い合わせは酒田市商工港湾課0234(26)5758。

0234(26)5758。